

# L'ORÉAL

## 仏・ロレアル 環境テックスタートアップ企業 GJOSA へ投資

世界最大の化粧品メーカーである仏・ロレアルグループ（本社：パリ）は、現地時間3月23日、コーポレート・ベンチャーキャピタル・ファンドである「[BOLD \(Business Opportunities for L'Oréal Development\)](#)」を通じて、スイスの環境テックスタートアップ企業「Gjosa」に少数株主として出資したことを発表しました。

スイスの都市ビールに拠点を置く Gjosa 社は、独自の節水ソリューションを開発しています。ロレアルと Gjosa 社は 2015 年より、節水を目的としたシャンプーのすすぎ技術の最適化に共同で取り組んでいます。2018 年、ロレアルと Gjosa 社は、通常 8 リットルの水を要するところ、1.5 リットルでシャンプーをすすぐことができるシャワーヘッドの開発を発表しました。2021 年 1 月に開催された CES において、ロレアルと Gjosa 社は、サロンや家庭での美容活動に適した[サステナブルなヘアケアシステム「L'Oréal Water Saver」](#)を発表しました。



ロレアルのチーフリサーチ・イノベーション&テクノロジーオフィサーであるバーバラ・ラヴェルノは以下の通りコメントしています。「ロレアルは、最高のサステナブルビューティサイエンスを提供し、「ビューティテック」のチャンピオンになることを目指しています。Gjosa 社のユニークな水技術のイノベーションと、ロレアルの美容習慣やデータ、テクノロジー、パーソナライゼーションに関する知識を組み合わせることで、ロレアルと Gjosa 社はともに、水という貴重な資源を守りながら、消費者のために、新しい拡張された美容体験を生み出していきたいと思っています。」

Gjosa 社の共同設立者である Amin Abdulla 氏と Luc Amgwerd 氏は次のように述べています。

「私たち Gjosa は、ロレアルとのパートナーシップの新たな段階に入ることに興奮しています。美における研究開発、「ビューティテック」におけるロレアルのリーダーシップ、そしてロレアルの象徴的なブランドは、世界中の消費者に水技術を届けるためのロードマップを強化してくれるでしょう。このパートナーシップの強化は、Gjosa がサロンやご家庭における最高品質の水美術ソリューションを提供するための、イノベーションの創造を可能にしてくれます。この目標に向けてロレアルと協働できることに喜びを感じています」

ロレアルについて <https://www.loreal.com/en/>

ロレアルは、100年以上にわたって美に専念してきました。35の多様で補完的なブランドからなる独自の国際的なポートフォリオにより、グループは2020年に279億9000万ユーロの売上高を達成し、世界中で85,400人の従業員を雇用しています。世界有数のビューティーカンパニーであるロレアルは、マス市場、百貨店、調剤薬局・ドラッグストア、ヘアサロン、トラベルリテール、ブランドリテール、Eコマースなど、あらゆる流通ネットワークに展開しています。

研究とイノベーション、そして4,000人の研究専任チームは、ロレアルの戦略の中核であり、世界中の美への熱望を叶えるために活動しています。ロレアルは、2030年に向けてグループ全体で意欲的な持続可能な開発目標を掲げ、より包括的でサステナブルな社会に向けてエコシステムを強化することを目指しています。

日本ロレアルについて <https://www.nihon-loreal.jp/>

ロレアルは1963年から日本で事業を開始し、1996年に日本法人である日本ロレアル株式会社が設立されました。2020年末時点での社員数は、2,491人、2021年2月現在の取り扱いブランドは17です。化粧品の輸入、製造、販売、マーケティングを行っています。